

高岡商業高等学校 校歌

1 ^{あま}天 ^{ひかげ}つ日影のかがやかに ^す澄みわたりたる ^{おおぞら}大空や

^{たち}太刀の ^{たかね}高嶺の ^{りんこ}凜乎たる ^{せんこふどう}千古不動の ^{ゆうし}勇姿こそ

^{わこうど}若人われらが ^{あさゆう}朝夕に ^{こころ}心を ^{ただ}正す ^{かがみ}鑑なれ

2 ^{こじょう}古城の ^{その}園の ^{はる}春の ^{はな}花 ^{ふたがみやま}二上山の ^{あき}秋の ^{つき}月

^{しぜん}自然は ^と常久に ^か変わらねど ^ひ日に ^{あら}新たなる ^よ世の ^{すす}進み

^{わこうど}若人われらが ^{になう}担ふなる ^{しめい}使命の ^{だい}大を ^{おも}思ふ ^{かな}かな

3 いや ^{さか}栄えゆく ^{ほくりく}北陸の ^{しょうと}商都に ^た立ちて ^{ほまれ}榮譽ある

^{たかおか}高岡 ^{しょうぎょうこうこう}商業高校に ^て手を取り ^{とも}共に ^{まな}学ぶなる

^{わこうど}若人われらに ^{かがや}輝ける ^{ゆく}行く ^て手の ^{ひかりのぞ}光望 ^ままずや